

平成31年第1回岩沼市議会定例会6日目 平成31年3月18日（月曜日）

午前10時開議

日程第1 諸報告

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 議案第1号 岩沼市債権管理条例について

議案第26号 平成31年度岩沼市一般会計予算について

議案第27号 平成31年度岩沼市国民健康保険事業特別会計予算について

議案第28号 平成31年度岩沼市後期高齢者医療特別会計予算について

議案第29号 平成31年度岩沼市介護保険事業特別会計予算について

議案第30号 平成31年度岩沼市矢野目西地区土地区画整理事業特別会計予算について

議案第31号 平成31年度岩沼市水道事業会計予算について

議案第32号 平成31年度岩沼市下水道事業会計予算について

議案第33号 平成31年度岩沼市特定公共下水道事業会計予算について

日程第4 議案第35号 平成31年度岩沼市一般会計補正予算（第1号）について

日程第5 意見書案第1号 看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

日程第6 意見書案第2号 宮城県上工下水一体官民連携運営（みやぎ型管理運営方式）について慎重な対応を求める意見書

日程第7 閉会中の継続調査の件（各常任委員会の調査事件）

午前10時42分閉会

平成31年第1回岩沼市議会定例会会議録

6日目 平成31年3月18日(月曜日)

出席議員(18名)

1番	佐藤剛太	10番	渡辺ふさ子
2番	菊地忍	11番	佐藤一郎
3番	高橋光孝	12番	国井宗和
4番	植田美枝子	13番	布田一民
5番	佐藤淳一	14番	長田忠広
6番	大友健	15番	飯塚悦男
7番	布田恵美	16番	沼田健一
8番	酒井信幸	17番	櫻井隆
9番	須藤功	18番	森繁男

欠席議員(なし)

説明のため出席した者

市長	菊地啓夫	復興・都市整備課長	菅原伸浩
副市長	鈴木隆夫	下水道課長	大久保智志
総務部長	大友彰	水道事業所長	森康雄
健康福祉部長	高橋広昭	消防本部長	菅原敬
市民経済部長	菅井秀一	教育委員会 教育長	百井崇
建設部長	星幸浩	教育次長兼 教育総務課長	高橋弘昭
総務課長	石垣茂	生涯学習課長兼 スポーツ振興課長	沼田輝明
政策企画課長	遠藤大輔	監査委員	鎌田壽信
税務課長兼 収納対策室長	伊藤正幸	事務局長	横尾芳郎
健康増進課長	菅原亜由美	農業委員会 事務局長	亀田明彦
介護福祉課長	今田昌美		

議会事務局職員出席者

参事兼事務局長	高橋進	議事係長	佐藤俊輔
局長補佐	高橋利彰		

議事日程

平成31年3月18日(月曜日)午前10時開議

1. 開議宣告

- 日程第1 諸報告
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 議案第1号 岩沼市債権管理条例について
議案第26号 平成31年度岩沼市一般会計予算について
議案第27号 平成31年度岩沼市国民健康保険事業特別会計予算について
議案第28号 平成31年度岩沼市後期高齢者医療特別会計予算について
議案第29号 平成31年度岩沼市介護保険事業特別会計予算について
議案第30号 平成31年度岩沼市矢野目西地区土地区画整理事業特別会計予算について
議案第31号 平成31年度岩沼市水道事業会計予算について
議案第32号 平成31年度岩沼市下水道事業会計予算について
議案第33号 平成31年度岩沼市特定公共下水道事業会計予算について
条例及び予算審査特別委員会委員長審査報告
一括質疑・討論・表決
- 日程第4 議案第35号 平成31年度岩沼市一般会計補正予算（第1号）について
提案理由・質疑・討論・表決
- 日程第5 意見書案第1号 看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書
提案理由・質疑・討論・表決
- 日程第6 意見書案第2号 宮城県上地下水一体官民連携運営（みやぎ型管理運営方式）について慎重
な対応を求める意見書
提案理由・質疑・討論・表決
- 日程第7 閉会中の継続調査の件（各常任委員会の調査事件）

2. 閉 議 宣 告

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第7まで

午前10時開議

○議長（森繁男）御起立願います。おはようございます。御着席願います。

ただいまの出席議員は18名であります。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1 諸報告

○議長（森繁男）日程第1、諸報告について事務局長から行います。高橋事務局長。

〔高橋進参事兼事務局長登壇〕

○参事兼事務局長（高橋進）それでは、諸報告4件について申し上げます。

第1、追加議案について、別紙お手元に配付のとおり、市長から追加議案1件が提出されております。

第2、意見書案について、別紙お手元に配付のとおり、意見書案2件が議長宛て、提出されております。

第3、委員会審査報告書について、別紙お手元に配付のとおり、条例及び予算審査特別委員長から議長宛て、会議規則第101条の規定に基づき委員会審査報告書が提出されております。

第4、常任委員会の閉会中の継続調査について、別紙お手元に配付のとおり、各常任委員長から議長宛て、会議規則第102条の規定に基づき、閉会中の継続調査の申出書が提出されております。

以上でございます。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（森繁男）日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第79条の規定により、12番国井宗和議員、13番布田一民議員を指名いたします。



日程第3 議案第1号 岩沼市債権管理条例について

議案第26号 平成31年度岩沼市一般会計予算について

議案第27号 平成31年度岩沼市国民健康保険事業特別会計予算について

議案第28号 平成31年度岩沼市後期高齢者医療特別会計予算について

議案第29号 平成31年度岩沼市介護保険事業特別会計予算について

議案第30号 平成31年度岩沼市矢野目西地区土地区画整理事業特別会計予算について

議案第31号 平成31年度岩沼市水道事業会計予算について

議案第32号 平成31年度岩沼市下水道事業会計予算について

議案第33号 平成31年度岩沼市特定公共下水道事業会計予算について

○議長（森繁男）日程第3、議案第1号及び議案第26号から議案第33号までの9件を一括して議題といたします。

これより付託をしておりました条例並びに平成31年度一般会計及び各種会計予算について、条例及び予算審査特別委員長から審査結果の報告を求めます。国井宗和条例及び予算審査特別委員長、登壇の上、報告願います。

〔国井宗和条例及び予算審査特別委員長登壇〕

○条例及び予算審査特別委員長（国井宗和）それでは、報告いたします。

条例及び予算審査特別委員会審査報告書

議案第1号 岩沼市債権管理条例について

議案第26号 平成31年度岩沼市一般会計予算について

議案第27号 平成31年度岩沼市国民健康保険事業特別会計予算について

議案第28号 平成31年度岩沼市後期高齢者医療特別会計予算について

議案第29号 平成31年度岩沼市介護保険事業特別会計予算について

議案第30号 平成31年度岩沼市矢野目西地区土地区画整理事業特別会計予算について

議案第31号 平成31年度岩沼市水道事業会計予算について

議案第32号 平成31年度岩沼市下水道事業会計予算について

議案第33号 平成31年度岩沼市特定公共下水道事業会計予算について

本委員会に付託された上記の議案については、審査の結果、部会審査報告書のとおり原案可決すべきものと決したので、会議規則第101条の規定により報告する。

平成31年3月18日

岩沼市議会議長 森 繁 男 殿

条例及び予算審査特別委員会

委員長 国 井 宗 和

総務部会審査報告書

審査の経過

本部会は、3月8日から3月13日までの間、執行部の出席を求め、付託された所管事項について関係書類の説明を受け、さらに現地調査を実施し、慎重審査の結果、下記の結論に達した。

記

議案番号	件名	要望等	審査の結果
議案第1号	岩沼市債権管理条例について	特記事項なし	原案可決すべきもの
議案第26号	平成31年度岩沼市一般会計予算について 歳入の部 全部 歳出の部 1款 議会費 2款 総務費 4款 衛生費 (水道事業会計繰出に要する経費) 6款 農林水産業費 (下水道事業会計(農業集落排水事業)繰出に要する経費) 8款 土木費 (下水道事業会計(公共下水道事業)繰出に要する経費及び特定公共下水道事業会計繰出に要する経費) 9款 消防費 11款 公債費 12款 予備費 債務負担行為 地方債	特記事項なし	原案可決すべきもの

以上のとおり報告する。

平成31年3月15日

条例及び予算審査特別委員会

委員長 国井宗和 殿

条例及び予算審査特別委員会

総務部会長 佐藤 一郎

教育民生部会審査報告書

審査の経過

本部会は、3月8日から3月13日までの間、執行部の出席を求め、付託された所管事項について関係書類の説明を受け、さらに現地調査を実施し、慎重審査の結果、下記の結論に達した。

記

議案番号	件名	要望等	審査の結果
議案第26号	平成31年度岩沼市一般会計予算について 歳出の部 3款 民生費 4款 衛生費 (水道事業会計繰出に要する経費を除く) 10款 教育費	特記事項なし	原案可決すべきもの
議案第27号	平成31年度岩沼市国民健康保険事業特別会計予算について	特記事項なし	原案可決すべきもの

議案第28号	平成31年度岩沼市後期高齢者医療特別会計予算について	特記事項 なし	原案可決 すべきもの
議案第29号	平成31年度岩沼市介護保険事業特別会計予算について	特記事項 なし	原案可決 すべきもの

以上のとおり報告する。

平成31年3月15日

条例及び予算審査特別委員会

委員長 国井宗和殿

条例及び予算審査特別委員会

教育民生部会長 酒井信幸

建設産経部会審査報告書

審査の経過

本部会は、3月8日から3月13日までの間、執行部の出席を求め、付託された所管事項について関係書類の説明を受け、さらに現地調査を実施し、慎重審査の結果、下記の結論に達した。

記

議案番号	件名	要望等	審査の結果
議案第26号	平成31年度岩沼市一般会計予算について 歳出の部 5款 労働費 6款 農林水産業費 (下水道事業会計(農業集落排水事業)繰出に要する経費を除く) 7款 商工費 8款 土木費 (下水道事業会計(公共下水道事業)繰出に要する経費及び特定公共下水道事業会計繰出に要する経費を除く)	特記事項 なし	原案可決 すべきもの
議案第30号	平成31年度岩沼市矢野目西地区土地地区画整理事業特別会計 予算について	特記事項 なし	原案可決 すべきもの
議案第31号	平成31年度岩沼市水道事業会計予算について	特記事項 なし	原案可決 すべきもの
議案第32号	平成31年度岩沼市下水道事業会計予算について	特記事項 なし	原案可決 すべきもの
議案第33号	平成31年度岩沼市特定公共下水道事業会計予算について	特記事項 なし	原案可決 すべきもの

以上のとおり報告する。

平成31年3月15日

条例及び予算審査特別委員会

委員長 国井宗和殿

条例及び予算審査特別委員会

以上であります。

○議長（森繁男）これまでの全体会議において、十分質疑を尽くされたと思いますが、ただいまの委員長の報告に対し一括して質疑を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）質疑がないようでありますので、質疑を終結いたします。

これより議案第1号及び議案第26号から議案第33号までの9件について1件ずつ討論、採決を行います。議案第1号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第1号岩沼市債権管理条例について採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、本案は委員長報告のとおり可決することに決しました。

これより議案第26号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第26号平成31年度岩沼市一般会計予算について採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

これより議案第27号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第27号平成31年度岩沼市国民健康保険事業特別会計予算について採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

これより議案第28号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第28号平成31年度岩沼市後期高齢者医療特別会計予算について採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

これより議案第29号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第29号平成31年度岩沼市介護保険事業特別会計予算について採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

せんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

これより議案第30号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第30号平成31年度岩沼市矢野目西地区土地区画整理事業特別会計予算について採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

これより議案第31号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第31号平成31年度岩沼市水道事業会計予算について採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

これより議案第32号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第32号平成31年度岩沼市下水道事業会計予算について採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

これより議案第33号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第33号平成31年度岩沼市特定公共下水道事業会計予算について採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。



日程第4 議案第35号 平成31年度岩沼市一般会計補正予算（第1号）について

○議長（森繁男）日程第4、議案第35号を議題といたします。

市長から提案理由の説明を求めます。菊地啓夫市長、登壇の上、説明願います。

〔菊地啓夫市長登壇〕

○市長（菊地啓夫）議案第35号平成31年度岩沼市一般会計補正予算（第1号）についての提案理由を申し上げます。

本案は、消費税率引き上げに伴う地域における消費の喚起・下支えを目的とするプレミアム付商品券事業

に係る経費を計上するもので、歳入歳出とも1億9,680万7,000円を追加し、総額を186億580万7,000円にしようとするものであります。

よろしく御審議を賜り、原案可決されますようお願い申し上げます。

○議長（森繁男）これより質疑を行います。10番渡辺ふさ子議員。

○10番（渡辺ふさ子）このプレミアム商品券を、岩沼市でこの事業を行うことの理由が1点、そして2点目、事業の詳しい内容について、3点目、消費税の引き上げが延期になった場合の対応について、以上3点伺います。

○議長（森繁男）執行部の答弁を求めます。大友彰総務部長。

○総務部長（大友彰）ただいま提案理由で申し上げましたとおり、今回のプレミアム付商品券につきましては、消費税率の増税に合わせてその対応をするということでございますので、岩沼市でも対応についてさせていただくということでございます。

事業の内容につきましては、1セット4,000円の商品券をプレミアムつきということで5,000円分使えるという形で、5セットまで購入いただけるという形でございます。岩沼市の場合、対象となる者が平成31年度の住民税非課税者の方、それから3歳未満児の子どもの方が属する世帯主の方ということで、7,000セットを想定しております。2万円のそのセットを7,000セットということで想定しております。

それから、国のほうが延期ということでございますが、全国的にこの制度について延期ということになれば、岩沼市もそれに従うような形になるかと存じます。

○議長（森繁男）よろしいですか。渡辺ふさ子議員。

○10番（渡辺ふさ子）延期になれば従うということですが、プレミアム商品券、すぐにこれが、今回予算が認められれば商品券の印刷なりそういう事業にかかわっていく、そういう経費ももうすぐにかかってくるわけですが、そのような経費についてはどうなりますか。

○議長（森繁男）大友総務部長。

○総務部長（大友彰）国のほうが決定して、全国の市町村にそのようなことで説明をしているということでございますので、その準備のために必要な経費につきましては国に請求してまいります。

○議長（森繁男）よろしいですか。ほかに質疑はありますか。1番佐藤剛太議員。

○1番（佐藤剛太）3点質問させていただきます。

プレミアム商品券、今まで数回やられていたと思いますが、本市において、本市の商店街等々でどのような効果があったか。もう1点、その販売時期。3点目がその販売方法。以上、3点をお伺いします。

○議長（森繁男）大友総務部長。

○総務部長（大友彰）効果ということでございますと、平成27年度に地域住民生活等緊急支援交付金というものでプレミアム付商品券のほうを実施しております。そのときに、交付額に対して、市内の商店街の方々に、商品券プラス現金の消費もいただいておりますので、交付させていただいた金額よりも大きな効果があったというふうに類推しているところでございます。実際のところは、発行額が当時2万……、済みませんで、2億800万円の発行をしております、それにプラスするところの約1億1,000万円程度の上積みがあった、消費があったというふうに当時見込まれております。

今回の販売につきましては、市内の店舗の方を対象といたしまして、商工会に御加入の場合は商工会を經由して、商工会に加入していない店舗の場合は、市が窓口となって商品券の取り扱いをしたいと考えております。（「時期、時期」の声あり）

それから、時期につきましては、ことしの10月1日からということで、今年度中で検討しております。

○議長（森繁男）よろしいですか。（「販売方法」の声あり）えっ……（「はい、3番目の」の声あり）販売方法。遠藤大輔政策企画課長。

○政策企画課長（遠藤大輔）今後のスケジュール、先ほどの御説明に補足させていただきたいと思いますが、今後のスケジュールといたしましては、6月から広報を開始いたしまして、それで7月から申請を受け付けたいというふうなことでございます。実際使えるようになるのは10月からということになります。

実際の販売方法でございますが、ある程度こちらのほうで対象者の方を特定させていただいて、それでその方を中心に通知をさせていただき、詳細につきましてははですね、細かなところはこれから詰めるところはあるんですが、引きかえ券というものをまず郵送させていただいて、それで販売の管理をしていきたいというふうに考えてございました。

○議長（森繁男）よろしいですか。（「はい」の声あり）

ほかに質疑はありませんか。8番酒井信幸議員。

○8番（酒井信幸）一応、今の商工会にも関連してのことなんですけれども、実際に前回のそのプレミアムのときは、商工会に加盟していない大型店等が入っているのと販売がありました。ただ、それが終わるとまた商工会を抜けてしまったという実情もあります。そういう面での市の方向では、どのような、何ていうんですかね、何か月前まで商工会に加盟しているとか、そういうふうな線引きをしているのか。

あとは、その前回、大型店と小売店とのバランスよく、はっきり言って大型店のほうが使い勝手がいいので、そちらのほうの販売枚数がこなしてしまうということで、地元小売店に対してはあんまりこれはメリックがないんじゃないかというふうに思うので、その対応の仕方はどういうふうにするんだかお願いします。

○議長（森繁男）大友総務部長。

○総務部長（大友彰）商工会に加盟していない店舗の方につきましては、先ほども申し上げましたとおり、市のほうが窓口となって公募をさせていただいて、このプレミアム商品券を取り扱うという商店の方を市のほうで対応させていただくという考え方でございます。

それから、ただいまの地元商店街にということもございますが、考え方として消費する方の立場というのもございますので、その消費する市民の皆さんの消費の仕方というところの部分も十分考えなければならぬと考えております。

○議長（森繁男）よろしいですか。8番酒井信幸議員。

○8番（酒井信幸）やはりそこが一番の問題点になってくると思うんです。やっぱり市としてこのように大きな金額をその方々に販売するということになる、やっぱり地元が潤うような仕組みも少し考えなければ、はっきり言って大型店に偏ってしまうのが見え見えだというふうに思うんですけれども、その点に対してのある程度のその……、前回ですとその2万円分のうち、半分は地元とか、半分は大型店対象のところでは使えるところかというふうな、この差別化というふうな考えはないのか、ちょっとお尋ねします。

○議長（森繁男）大友総務部長。

○総務部長（大友彰）2月の中旬に県から説明会が初めてありまして、ただいま準備をスタートしたというところでございますので、商工会の皆さんとの調整もまだ十分に整っていないところでございます。これから商工会さんともしっかりと調整をさせていただいて、ただ、先ほど申し上げましたとおり、利用する市民の方の利便性というのも大切な観点だと考えておりますので、その辺調整させていただきたいと思っております。

○議長（森繁男）8番酒井信幸議員。

○8番（酒井信幸）それは、しっかりと調整させていただいて、やはりさっきも言いましたけれども、ある程度どこかで差別化をしないと、全てが大型店で使われてしまって、市内の商店街が全く潤わない可能性も出てくるということで、この比率からすると、そういう面も含めて商工会としっかりと話し合いをしていただきたいという要望です。

○議長（森繁男）答弁要りますか。（「いいです」の声あり）7番布田恵美議員。

○7番（布田恵美）1点確認させていただきます。

ただいまのやりとりの中で、対象者となる3歳未満のお子さんがある御家庭や非課税世帯という話と、その方々に対して広報をして、申請をしていただくということがありました。そのときに、この事業の仕組みですとか、それから実際使えるお店のリストなど、それを配布していくことになるのか、それまでに参加する、それに協賛するというのか、そのお店、事業所、大型店も含めて集約して提示していくという流れになるのか、その辺のスケジュールもあわせてお聞かせいただければと思います。

○議長（森繁男）大友総務部長。

○総務部長（大友彰）先ほど課長のほうから申し上げましたとおり、これから対象者の方をリストアップさせていただいて、その中に申請券のような形のものをお入れしてというところで、その中に時期的に間に合えば、当然そういうお店のリストなども入れたいと思うんですが、これからちょっと調整をかけていくことになりますので、その部分は検討をさせていただきたいと思います。

○議長（森繁男）7番布田恵美議員。

○7番（布田恵美）これから関係機関といろいろなやりとりをしていくということはよく理解できます。ただ、やはりいろいろなこれまでのプレミアム付商品券の販売などのときにも、よくその仕組みがわからないとか、理解できないというのか、応募し切れなかったとか、本当は、本当にその支援が必要な状況にあるんだけど、そういった商品券を買うところにたどり着けなかったというお話もいろいろなところでお聞きしておりましたので、そういった方々になるべくないように、本当に必要な方に今回の事業が届きますように進めさせていただきたいと思います。これは要望でございます。

○議長（森繁男）答弁は要りませんね。（「はい」の声あり）

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）質疑がないようでありますので、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第35号については、会議規則第36条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、議案第35号については、委員会付託を省略することに決しました。

これより議案第35号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより採決いたします。議案第35号平成31年度岩沼市一般会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。



日程第5 意見書案第1号 看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

○議長（森繁男）日程第5、意見書案第1号を議題といたします。

これより提出者から提案理由の説明を求めます。10番渡辺ふさ子議員、登壇の上、説明願います。

〔10番渡辺ふさ子議員登壇〕

○10番（渡辺ふさ子）意見書を読み上げまして、提案といたします。

意見書案第1号

平成31年3月18日

岩沼市議会議長 森 繁 男 殿

提出者 岩沼市議会議員 渡 辺 ふさ子

賛成者 岩沼市議会議員 布 田 恵 美

意見書の提出について

地方自治法第99条の規定により「看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書」を別紙のとおり提出する。

看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

高齢化が進む中で、厚生労働省は、2025年に向けた看護職員の推計と確保策の中で、看護職員の必要数は200万人と試算しました。しかし医療・看護の現場では、引き続き厳しい労働環境と低賃金のもと、看護師

の定着が進まず、高い離職率の中、慢性的な人員不足が続いています。日本医療労働組合連合会が実施した「2017年看護職員の労働実態調査」（看護職員 3万3,402人分）では、慢性疲労や健康不安を抱えている看護職員は約7割、「3人に1人が切迫流産で、流産も1割に達する」など、人手不足の中で過酷な勤務実態が浮き彫りとなりました。このような勤務環境の中で、仕事を辞めたいと感じながら働いてる看護職員は75.2%にも達し、辞めたい理由として「人手不足で仕事がかたい」が47.7%、「賃金が安い」が36.6%という結果となっています。「低賃金・過重労働」の実態は依然として改善されておらず、このことが人員不足を深刻化させ、医療や看護事故につながることを懸念されるなど、患者・利用者の安全や看護の質にも影響を及ぼしかねない事態になっています。

看護師の賃金水準が全産業平均よりも低い原因の1つとして、同じライセンスでありながら働く地域によって初任給の格差が月額8万円にも及ぶ地域間格差が指摘されています。本来、公定価格である診療報酬で看護師の労働に関する評価は公正に行われるべきですが、地域間格差が大きすぎることから看護師の賃金水準が引き上がらず、看護師の地域偏在や離職者増を引き起こしています。医療施設等の安全・安心な職員体制や医療・看護現場で働く労働者の処遇の確保は国の責任で行われるべきです。

よって、看護師の賃金底上げなど処遇の改善、人材確保と体制強化を実現するため、下記の事項について国、宮城県に要望します。

記

1. 看護師の賃金の底上げを図り、安全・安心の医療・看護体制を確保するために、全国を適用対象とした看護師の特定最低賃金を新設すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年3月18日

宮 城 県 岩 沼 市 議 会

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、宮城県知事

備 考 地元選出国會議員には、同趣旨の陳情書を提出する。

よろしく御審議願います。

○議長（森繁男）これより質疑を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）質疑がないようでありますので、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております意見書案第1号については、会議規則第36条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、意見書案第1号については、委員会付託を省略することに決しました。

これより意見書案第1号について討論を行います。3番高橋光孝議員。

初めに、反対討論を許します。

○3番（高橋光孝）反対の立場で述べさせていただきます。

まず、看護師さんの仕事の重要性、そして患者・利用者さんの看護に携わり、安心・安全を日々気配りしている仕事ぶりには頭が下がるばかりでございます。

決して、看護師さんの給与を上げるなどということではありません。そして、看護師に限らず、賃金の地域格差があるのも間違いはございません。

しかしながら、この意見書はあたかも看護師さんだけが低賃金であるような表現をされていること、そして厚生労働省の平成29年賃金構造基本統計調査の概況によりますと、看護師は決して低いというか、全産業平均よりは高く、生涯賃金に関しては、2016年のデータではありますが、看護師は1億8,800万に対して産業全体では1億7,000万というデータもあります。看護師さんの給与水準を上げるだけでなく、全産業の水準を上げなければいけないのではないかと考えております。

また、地域格差については、自民党の有志議員による、最低賃金を全国一律にすることを目指す議員連盟が近く立ち上がると聞いております。一方で、東京一極集中というのを是正するというのもありますが、一方で最低賃金を東京水準にすると、地方の中小企業にとっては大きな負担増になり、地域経済への影響が懸念されております。全国の看護師が給与が東京並みになった場合、地方病院で看護師を雇う場合、充足するぐらいの十分な確保ができないのではないかと考えた場合に、逆に看護師1人に対しての負担増、そして十分な看護ができない状態というのが地方で起こり得ると考えられております。

この意見書は、1点ばかりを見ているのかなというふうに考えます。1点ばかりを見ずに、全体を見るのが非常に大事かと考えますので、この意見書には反対いたします。以上でございます。

○議長（森繁男）次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより採決いたします。意見書案第1号看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書については、原案のとおり可決することに賛成する議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森繁男）起立少数であります。よって、本案は否決されました。



日程第6 意見書案第2号 宮城県上工下水一体官民連携運営（みやぎ型管理運営方式）について慎重な対応を求める意見書

○議長（森繁男）日程第6、意見書案第2号を議題といたします。

これより提出者から提案理由の説明を求めます。10番渡辺ふさ子議員、登壇の上、説明願います。

〔10番渡辺ふさ子議員登壇〕

○10番（渡辺ふさ子）意見書を読み上げまして、提案にかえさせていただきます。

意見書案第2号

平成31年3月18日

岩沼市議会議長 森 繁 男 殿

提出者 岩沼市議会議員 渡 辺 ふさ子

賛成者 岩沼市議会議員 布 田 恵 美

意見書の提出について

地方自治法第99条の規定により「宮城県上工下水一体官民連携運営（みやぎ型管理運営方式）について慎重な対応を求める意見書」を別紙のとおり提出する。

宮城県上工下水一体官民連携運営（みやぎ型管理運営方式）について慎重な対応を求める意見書

県は、水道事業の運営権を民間に移譲・売却する上工下水一体官民連携運営（みやぎ型管理運営方式）の構築に向けた検討を進めています。

具体的には、県が運営する水道用水供給事業（25市町村）、工業用水道事業（67社）、流域下水道事業（26市町村）のうち、用水供給事業（2事業）・工業用水（3事業）・流域下水（4事業）の9事業を一体化し、20年間にわたり民間に運営権を売却しようとする計画が提案されています。

これまでに世界で民営化された事例以上に官の関与を強めるなどとして、「みやぎ型管理運営方式」と称していますが、水は県民の命と暮らしに関わる最も重要な社会インフラであり、その影響は計り知れないことから、県民から出されている様々な懸念や疑問に対し、丁寧かつ真摯な対応をとるとともに、十分かつ慎重な対応が求められています。

よって、県においては、以上の趣旨を踏まえ、次の措置を講ずるよう強く要望します。

記

1. 「上工下水一体官民連携運営」について、県は県民に全ての情報を公開すること。
2. 「上工下水一体官民連携運営」について、初めに事業ありきではなく、あらゆる角度から今後の水道事業

の改革のあり方を検討し、慎重に対応すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年3月18日

宮 城 県 岩 沼 市 議 会

提出先 宮城県知事、宮城県公営企業管理者

備 考 地元選出県議会議員には、同趣旨の陳情書を提出する。

よろしく御審議願います。

○議長（森繁男）これより質疑を行います。15番飯塚悦男議員。

○15番（飯塚悦男）提出者の渡辺ふさ子議員に伺います。

記、2の「『上工下水一体官民連携運営』について、初めに事業ありきではなく」と書いてありますが、渡辺ふさ子議員は日本共産党に所属しております。日本共産党は、初めから反対ありきではないかと思うんですが、いかがですか。

○議長（森繁男）提出者の答弁を求めます。10番渡辺ふさ子議員。

○10番（渡辺ふさ子）共産党としては、あらゆる角度から検討すべきであるということで、さまざまな資料について検討しているところでございます。

○議長（森繁男）15番飯塚悦男議員。

○15番（飯塚悦男）検討すると。これは、議会議員として当たり前の答弁なんですけど、しかしですね、いつものいろいろな情報を見ますと、共産党は、水道民営化、一部民営化にも反対であると。命を守る大切な水を民間になぜやるのかと言っているんですよ。議論してもですね、意見書を出しても、慎重に対応すると言っているんですけど、反対、最終的にはですね、反対は反対なのではないかと思うんですけど、その点もう一度お伺いします。

○議長（森繁男）10番渡辺ふさ子議員。

○10番（渡辺ふさ子）この意見書は、慎重な対応を求めるといって出しております、共産党の考え云々ではなく、市議会として慎重な対応を求めたいということをお客さんの意見の総意として提出したいということを出しているんであります、共産党の考えいかに問うているわけではありませんで、その辺を間違えていただくのは大変に困ると考えております。

共産党としては、大変たくさんの面から、国際的な事例も含め、いろいろと党内でも論議しているところでございます。

○議長（森繁男）ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）質疑がないようですので、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております意見書案第2号については、会議規則第36条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、意見書案第2号については、委員会付託を省略することに決しました。

これより意見書案第2号について討論を行います。

初めに、本案に対する反対討論の発言を許します。2番菊地忍議員。

○2番（菊地忍）本提案につきまして、意見書につきまして、反対の立場で討論をさせていただきます。

知事は、これまで約2年間にわたり、導入に向けてのさまざまな調査を行ってきたということをお報告受けております。また、昨年の臨時国会においては、参考人質疑にも出席されております。これらを含めて、昨年、改正法が成立を受けているという現状を踏まえて、今回このような方向性で進んでいるわけでありまして、その中でもですね、これは新聞にも載っていましたが、県民に対して不安を解消することが非常に優先すべきことだという意見も知事のほうから出ておりますことから、あえて今回このような意見書を

出すことに対しては反対をいたします。

○議長（森繁男）次に、賛成討論の発言を許します。7番布田恵美議員。

○7番（布田恵美）意見書に賛成の立場から討論いたします。

私たちにとりまして、水というのは命にかかわる大変大切なものでございます。それは、どなたにとっても同じだと思っております。その点から、この上工下水一体官民連携運営について、私たち県民はしっかりと知る権利もあると思っております。ですので、この意見書にありますように、県としましては全ての情報をしっかりと公開してほしいということで賛成しております。

同様に、初めにその事業がある、ありきではなくて、しっかりとあらゆる角度から今後の水道事業の改革のあり方を検討して、慎重に対応していく、その後押しのためにもこの意見書に賛同しております。

以上でございます。

○議長（森繁男）ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより採決いたします。意見書案第2号宮城県上工下水一体官民連携運営（みやぎ型管理運営方式）について慎重な対応を求める意見書については、原案のとおり可決することに賛成する議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森繁男）起立少数であります。よって、本案は否決されました。



日程第7 閉会中の継続調査の件

○議長（森繁男）日程第7、閉会中の継続調査の件を議題といたします。

各常任委員長から、会議規則第102条の規定により、お手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続調査の申し出があります。

平成31年3月18日

岩沼市議会議長 森 繁 男 殿

総務常任委員会 委員長 佐藤 一郎

教育民生常任委員会 委員長 酒井 信幸

建設産経常任委員会 委員長 布田 恵美

閉会中の継続調査の申出書

本委員会は、下記の事件について、調査完了するまでの間、閉会中の継続調査を要するので、会議規則第102条の規定により申し出ます。

記

1 調査事件名

委員会名	事件名
総務	1 地方創生について
	2 防災対策について
	3 収納対策について
	4 ふるさと納税について
	5 事業評価について
	6 地域消防活動について
	7 安心・安全なまちづくりについて
	8 市民活動について
教育民生	1 地域共生型事業について
	2 不登校問題対策について

	3 緊急サポートネットワーク（子育て支援）について 4 認知症対策について 5 学校施設の長寿命化対策について 6 教職員の働き方改革について 7 障害者就労支援について 8 ICT教育について
建設産経	1 公共土地開発事業について 2 インバウンド及び観光対策について 3 地域特産物のブランド化及び販路拡大について 4 空き家対策について 5 企業誘致について 6 シティプロモーションについて 7 水道事業について

○議長（森繁男）お諮りいたします。各常任委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査に付することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森繁男）御異議なしと認めます。よって、各常任委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査に付することに決しました。



○議長（森繁男）これをもって本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

よって、平成31年第1回岩沼市議会定例会を閉会いたします。

それでは、皆さん御起立願います。—— 大変御苦労さまでした。

午前10時42分閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

令和元年6月14日

岩沼市議会 議長 森 繁 男

議員 国 井 宗 和

議員 布 田 一 民

意見書送付一覧表

平成30年12月13日送付

意見書 番 号	件 名	議 決 年 月 日	送 付 先
第4号	介護従事者の全国を適用地域とした 特定最低賃金の新設を求める意見書	平成30年12月13日	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、宮城県知事

陳 情 文 書 表

平成31年第1回岩沼市議会（定例会）

平成31年2月26日

陳 情 番 号	件 名	陳 情 者 名	受 理 年 月 日	所 管 委 員 会
第1号	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情	日米地位協定を見直す会 共同代表	H31. 1. 21	
第2号	宮城県に対し、小・中学校全学年で少人数学級実現等を要請する意見書採択を求める陳情	ゆきとどいた教育をすすめる宮城県連絡会 代表	H31. 2. 8	
第3号	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情	一般財団法人日本熊森協会 会長	H31. 2. 12	